

にゅうようじきょういくそうだんつうしん

あいあい



令和6年5月28日
乳幼児教育相談通信第2号
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎

日頃より、本校の教育活動に御理解いただきまして、ありがとうございます。
外遊びの心地よい季節です。今号では、見えない・見えにくいお子さんの外遊びについて、記載させていただきます。御来校の折には、具体的な紹介もしていきたいと思っております。
また、裏面には、今後の予定を記載させていただきます。参考になさってください。

見えない・見えにくいお子さんの外遊びのポイント ～外遊びは、感覚を育てる総合学習～

〈お外で、たくさん遊びましょう!〉

是非、外に出てみましょう。風の流れ、肌で感じるお日さまの感覚、土や葉っぱのにおい……。室内では感じられないたくさんの発見があります。聴覚、触覚、嗅覚、視覚、そして、体全体で感じる固有感覚、体の動きの中で目覚める前庭感覚……。体中の感覚が活動を始めます。

外は、葉っぱや花に触れたり、石を拾ったり、ダンゴムシに触ったり、室内ではできないことがいっぱいです。お散歩に出かけ、公園で遊びましょう。本校幼稚部にも遊びに来てください。安全な前庭で、いっぱい遊びましょう。

〈お外は、面白いものがたくさんあるよ、と伝えましょう!〉

外に一步出ると、室内では聞こえないいろいろな音がします。慣れるまでは、怖がったり、泣いてしまったりするかもしれません。まずは、抱っこしたり、手をしっかりとつないだりして、一緒に外に出て、周囲の環境に慣れていきましょう。安心できると、お子さんは、少しずつ自分から歩けるようになっていきます。

「お花のいいにおいがするね」「今は大きなバスの音だね」などと、周囲の様子を言葉で伝えましょう。一緒に近寄ったり、少しずつ触らせたりしながら「お外は怖くないし、面白いものがたくさんあるんだよ」と、メッセージを伝えましょう。

小さかった頃のことを振り返り、「お散歩のときのお母さんの実況中継が、ボクはとてもよかった」と話す成人の視覚障害の方もいます。

〈汚れてもいい服、動きやすい服で出かけましょう!雨の日も、是非、外へ!〉

外遊びは、少しぐらい汚れても大丈夫で動きやすい服で出かけましょう。また、靴や帽子にも少しずつ慣れていきましょう。普段身に付けないものは、嫌がる子が多いです。

また、雨の日は長靴をはいたり、カッパを着たりして、歩いてみましょう。大人が傘をさしていること、水たまりができていたりすることなどを伝えましょう。雨の音、顔にかかるしぶき、雨が運ぶにおいなど、新しい発見がたくさんあります。

〈公園の遊具で、どのように遊ぶといい?〉

見えない、見えにくいからといって消極的にならず、いろいろな遊具にチャレンジしてみましょう。大人と一緒にブランコに乗って揺れを味わってみたり、すべり台から滑り降りてみたりして、どんな遊具なのか、お子さんがわかるように伝えてあげてください。「ブランコは、くさりから手を離さなければ落ちない」「すべり台は、階段を上っていくと、滑り降りることができる」など、時間をかけて触りながら確かめることで、安心して遊べるようになります。

砂場遊びもお勧めです。手から伝わる砂の感触、手足を自由に動かして変化する形など、全身で楽しめます。坂道やでこぼこ道を歩いたり、走ったりできるのも、公園の魅力でしょう。

育児教室、行事などの予定

期日	曜日	行事名	場所	内容
6月5日	水	学校公開週間	本校舎及び寄宿舍	※ 御参加ありがとうございます。
6月19日	水	第2回 育児教室	幼稚部リズム室	「見えない、見えにくいお子さんの育児について」 講師：宮城教育大学名誉教授 猪平眞理先生
7月10日	水	第3回 育児教室	幼稚部リズム室	「点字のしくみと学習について」 担当：本校主幹教諭 丹羽弘子

グループ相談の予定



期日	曜日	内容	場所	ひとこと
6月12日	水	避難訓練	本校舎	盲学校の避難訓練を見学してください。
6月26日	水	かざり づくり	幼稚部・乳幼児教育相談 室	素材の感触を味わいながら、かざりを作り ましょう。
7月3日	水	砂・水 あそび	幼稚部前庭	砂・水の感触を味わい、心地よく体を動か しましょう。
7月17日	水	砂・水 あそび	幼稚部前庭	砂・水の感触を味わい、心地よく体を動か しましょう。



【お問い合わせ先】 東京都立葛飾盲学校 電話：03-3604-6435 FAX:03-3602-9096
副校長 近藤 美紀 担当主幹：丹羽（にわ）弘子